

# 未来をつくり出す力の 基礎を培うために

幼保連携型認定こども園って  
どんなところ？



※ 認定こども園には、幼保連携型・幼稚園型・保育所型・地方裁量型の4つのタイプがあります。そのうち、幼保連携型認定こども園は、幼稚園的機能と保育所的機能の両方の機能を併せ持つ単一の施設として、認定こども園としての機能を果たすタイプです。

詳細については裏表紙をご参照ください。

※ 本資料は、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づいて作成していますが、保護者の方などにも幅広く参考としていただくことを想定して作成していることから、国の法令等とは異なる表記も含まれています。



乳幼児期って  
どんな時期かな？

## 発達の特徴

# 幼保連携型認定こども園には

### 0歳児

安心・信頼  
「心地いいな」



### 1歳児

「あれなあに？」 「これなあに？」  
「いやいや！」



### 2歳児

「どうして？」 「自分でやりたい」  
「聞いて、聞いて」 「自分でできた！」



#### 0歳～1歳の頃

視覚、聴覚などの感覚や、座る、はう、歩くなどの運動機能が発達します。

特定の大人との応答的な関わりを通じて情緒的な絆が形成されます。

#### 1歳～2歳の頃

周囲の人や物への興味や関心が高まり、自分から手を伸ばして触ろうとしたり自分の意思を親しい大人に伝えたいという欲求が高まったりします。

自我が芽生え、1歳半頃からは自己主張が強くなります。

#### 2歳～3歳の頃

言葉も増え、おしゃべりを楽しんだり、大人の真似をしたり同じ動きを楽しんだりするようになります。

「自分でやりたい！」と様々なことに挑戦するようになります。

基本的な生活習慣は、ほぼ自立

## 幼稚園教諭の免許と保育士の資格、両方を持っている「保育教諭」

園では発達に応じた関わりを大切にしています。

子どもの気持ちを汲み取って言葉に出すなど、応答的な関わりを大切にしていきます。

「自分でやりたい」という気持ちや子どもの欲求を受け止めながら、温かく見守っていきます。

子どもの好奇心を大切に。「やってみよう」「楽しいな」「どうしてかな」など、子どもと一緒に楽しめます。

愛情豊かに、子どもの欲求に丁寧に応答していきます。

安全に気を付けながら、全身を使う遊びなど、様々な遊びを取り入れていきます。



発達の進み具合などは一人一人

# 0歳児から5歳児の子どもが生活しています。

## 3歳児

「面白そう」「やってみよう」  
「楽しいな」「これがしたい！」



## 4歳児

「あの子と一緒にいたいな」  
「嬉しいな」・「悲しいな」・「けんかしちゃった」  
「みんなと一緒に楽しいな」



## 5歳児

「どうなるかな?」・「試してみよう」  
「挑戦してみよう」  
「こうしてみない?」「いいよ」  
「友達がいるっていいな」



### 3歳～4歳の頃

言葉や運動機能がますます発達する時期です。

「やってみたい」「面白そう」など、気持ちを表現しながら、自分が興味や関心をもった遊びを楽しみます。

できるようになってきます。

### 4歳～5歳の頃

自己主張し、友達との中で葛藤を体験することが増えるようになります。

自分と友達の気持ちが違うことに気付いたり、自分の気持ちの伝え方を知ったりしていきます。

### 5歳～6歳の頃

友達との関わりが深まり、自分の考えや気持ちを言葉で伝え合うようになります。

友達と役割を分担したり力を合わせたりしながら遊びや生活をつくり上げていくようになります。



小学校へ

## と呼ばれる職員が、子どもたちと一緒に過ごしています。

興味や関心を大切に。自分のしたい遊びを十分に楽しめるようにしていきます。

「嬉しいな」「悲しいな」「面白いな」「悔しいな」など、子どもが感じている様々な気持ちを、ありのまま受け止めていきます。

友達の考えや気持ちに気付くことができるように、相手の考えや気持ちを丁寧に知らせていきます。

友達と協力しながら遊ぶ機会をつくったり、その姿を認めたりしながら、友達のいる嬉しさやよさを感じられるようにしていきます。

子どもが自分の成長を感じ、小学校での生活を楽しみにできるような関わりを大切にしていきます。

自分の力を発揮しながら生活を進めている姿を認めていきます。

遊びや生活の中で、自分で考えたり試行錯誤する姿を見守ったりしていきます。

違うものです。「心配だな」と思うことがあったら、園や地域の施設などに相談してみましよう。



# 保護者が、働いているか、働いていないかに

小学校以降の学習や生活の基礎となる幼児期の「教育」と、  
保護者が就労しているなど、保育が必要な子どもへの「保育」の両方を提供しています。

## 幼保連携型認定こども園の一日

0歳児～2歳児

保育を必要とする子ども

3歳児～5歳児

保育を必要とする子どもが過ごしています

教育時間のみ在園する子どもと、



一人一人のペースを大切に、ゆったりと過ごせるようにしています。

保護者の就労や登園時間に合わせて順次登園します。

## 遊びや生活の中で、様々なことを体験しています。

保育教諭との信頼関係を基盤に



様々な表現を楽しんで

季節の移り変わりを  
感じながら



作ったり  
作ったもので  
遊んだりして

いろいろなものに  
興味や関心をもって



自分たちの  
生活する場を  
整えて



遊びや生活の中での様々な体験が、  
乳幼児期に大切にしたい学びです。

乳幼児期は、身の回りにある環境(人・遊具・場所など)に

# 関わらず、子どもたちを受け入れています。

幼保連携型認定こども園は、「学校」と「児童福祉施設」の両方の役割があります。



が過ごしています

保育を必要とする子どもと一緒に過ごしています

保育を必要とする子どもが過ごしています



保育教諭や友達と様々な遊びを楽しみます。

発達に応じて昼寝をしたり、家庭的な雰囲気の中で過ごしたりすることができるような配慮をしています。



降園時間や保護者の就労に応じて順次降園します。



気持ちを伝えたり聞いたりしながら



生き物や自然に触れながら

友達と協力して



用具の扱い方を知る

試したり工夫したりして

友達と一緒に



様々な感触を味わって

体を動かす楽しさを感じて



## 自分から関わって展開する、「遊び」を通して育っていく時期です。

乳幼児期に、幼保連携型認定こども園で育みたいこと